

平成 27 年日本熱物性学会第 3 回 (2015-3) 役員会議事録

日時: 平成 27 年 9 月 12 日(土) 役員会 14:10~15:55

場所: 芝浦工業大学豊洲キャンパス 研究棟 5F 大会議室

出席者: (五十音順・敬称略)

遠藤亮(東レリサーチセンター)	小田究(名古屋市工業研究所)
小畑良洋(鳥取大学)	小原拓(東北大学)
小宮敦樹(東北大学)	迫田直也(九州大学)
佐藤真奈美(大阪工業大学)	佐藤譲(東北大学)
柴田浩幸(東北大学)	新里寛英(九州大学)
手嶋康介(京都電子工業)	長坂雄次(慶應義塾大学)
西川和宏(パナソニック)	福山博之(東北大学)
堀部明彦(岡山大学)	牧野俊郎(近畿職業能力開発大学校)
宮崎康次(九州工業大学)	桃木悟(長崎大学)
山田修史(産総研)	山田純(芝浦工業大学)

審議事項:

佐藤会長より挨拶があり, 配布資料の確認が行われた。

議 題:

(1) 前回議事録確認……………資料番号: 15-4-1

小宮評議員より, 資料 15-4-1 に基づき前回議事録の確認があり, 一部修正をすることで了承された。

(2) 第 36 回日本熱物性シンポジウムについて……………資料番号: 15-4-2

柴田第 36 回シンポジウム担当より, 第 36 回シンポジウムの準備状況について報告がなされた。論文投稿状況について説明があり, 懇親会時には東北大学の伊藤研究担当理事に挨拶をいただくことを了承いただいた。その他、機器展示・広告申し込み状況, 特別講演 2 名, 会期中の茶菓子, 学生プレゼンテーション賞についての説明があった。

(3) 総会に関する事項……………資料番号: 15-4-3-1~3

平成 27 年学会賞候補者・名誉員顕彰者

佐藤表彰委員会委員長より, 資料 15-4-3-1 に基づき, 平成 27 年論文賞 1 件, 奨励賞 2 名, 功労賞 1 名, 名誉員顕彰者 1 名の候補について報告があった。論文賞は 3 件, 奨励賞は 4 名の申請があり, 委員会での議論を経て受賞候補を決定した旨の報告があった。

第 37 期役員候補者について

小原事務局担当副会長より, 資料 15-4-3-2 に基づき, 第 37 期評議員候補者が提示された。続いて, 佐藤会長より会長・副会長・監事の候補者リストが紹介され, 会長は高田保之先生, 副会長は杉山久仁子先生, 監事は山田雅彦先生が候補者として選ばれ, これらを承認した。

## 総会資料と進め方

小原事務局担当副会長より、資料 15-4-3-3 に基づき、第 36 回シンポジウム期間中に開催される総会の資料案および進行表案が提示され、一部修正の後に了承された。

### (4)第 37 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:15-4-4

堀部編集担当より、第 37 回シンポジウムの準備状況について報告があった。スケジュール案の提示があり、ATPC2016 との関連を考慮し、36 回シンポジウムのスケジュールと比べて後ろ倒しで計画しているとの報告があった。佐藤会長よりシンポジウム参加費払込用紙は例年と異なり、8 月号に差し込まれるとの追加説明があった。

### (5)第 38 回日本熱物性シンポジウム準備状況

山田熱物性情報担当より、第 38 回シンポジウムの準備状況について報告があった。開催時期についての大まかな日程を検討している旨の報告があった。

### (6)各種委員会報告……………資料番号:15-4-6-1~4

#### 編集委員会

堀部編集担当より、資料 15-4-6-1 に基づいて、活動報告があった。11 月号の目次案が提示され、論文に関しては 3 件掲載予定とのこと。データベース講座は今回が最終回。研究分科会の原稿についてはふく射分科会が掲載予定であり、また、ATPC の会告を掲載していく報告があった。次号以降編集委員長の交代がある旨の報告もあった。

#### 表彰委員会

佐藤表彰委員会委員長より、資料 15-4-6-2 に基づいて、活動報告があった。誤植等の修正を含めた内規改正についての最終版の報告があり、改正の日付および字句の訂正については第 2 回役員会および第 3 回理事会で承認いただいたものとした。また、名誉員の内規途中にある不要英文を削除することとした。

#### 熱物性値サービス委員会

山田熱物性情報担当より活動報告がなされた。データベースについては管理担当の長崎大学とのやり取りが問題なく進んでいる旨の報告があった。また、パスワードのお知らせについて、現在のパスワードをメーリングリストで展開していく旨の報告があった。

#### 広報委員会

宮崎広報担当より、資料 15-4-6-3 に基づいて活動報告があった。HP の整備、メーリングリストの運用についての活動報告がなされた。フロントページコラムの更新については、評議員に協力をいただきたとの依頼があった。会員の増加に向けて、講習会を企画している旨の報告があった。

#### 活動委員会

桃木企画担当より、資料 15-4-6-4 に基づいて活動報告があった。BPA に関する活動についての報告があり、活動委員会とシンポジウム実行委員会間での関連業務についての詳細説明があった。また、BPA 審査に関して評議員に協力してもらう旨の報告があった。

### (7)研究分科会報告……………資料番号:15-4-7-1~3

複雑な系における水の特異な熱・輸送特性と応用に関する研究会

山田東京連絡事務担当より、資料 15-4-7-1 に基づいて、活動報告があった。第 36 回日本熱物性シンポジウム前日に講演会を実施する旨の報告があった。この件については、宮崎広報担当理事より既に Web 掲載済みのとの追加説明があった。

先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン

代理として佐藤会長より、資料 15-4-7-2 に基づいて、活動報告があった。

ふく射性質とその放射制御に関する研究会

宮崎広報担当理事より、資料 15-4-7-3 に基づいて、活動報告があった。8 月に 2 日間にわたって開催された勉強会の報告があった。

高温融体物性と材料プロセス

福山監事より活動報告があった。第 36 回日本熱物性シンポジウムでオーガナイズドセッションを開催する旨の報告があった。

断熱材分科会

佐藤会長より、代理で活動報告があった。第 36 回日本熱物性シンポジウムでオーガナイズドセッション (OS-8) を開催する旨の報告があった。

(8) 法人化および ATPC 等国際会議準備金について……………資料番号:15-4-8

長坂国際連絡事務担当より、資料 15-4-8 に基づいて内規案の提案および開催準備金支出依頼の文書案の提案があり、これらを承認した。

(9) 会計事務細則の制定について……………資料番号:15-4-9

長坂国際連絡事務担当より、資料 15-4-9 に基づいて会計事務細則案の提案があった。第 5, 7, 9 条および第 10 条の文言を一部修正することで、平成 27 年 9 月 12 日付でこれを了承した。

(10) 事務局報告……………資料番号:15-4-10-1~3

小原事務局担当副会長より、資料 15-4-10-1~3 に基づいて協賛、会員異動についての報告がなされた。また、公益財団法人 谷川熱技術振興基金からの長坂雄次先生への受賞に関して、学会誌上へ掲載すべきかどうかの伺いがあった。これに対し、学会誌には特段掲載の必要はないとの意見が出され、ホームページ上のみで期間限定で掲載することとなった。

(11) その他

特になし。

以上